

令和6年度支援計画(案)

SORA

令和 6 年 3 月 1 日

- 活動目標
- ① 創作的活動を通して物を作ることの楽しさを感じる。
 - ② 散歩や運動を通して体力をつける。
 - ③ 様々な活動を通して興味の幅を広げる。

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

| 5領域 | ねらい | 支援内容 | |
|--------------|-------------------|---------------------------|---------------------|
| 健康・生活 | 健康状態の維持・改善 | 健康状態の把握 | 生活リズムの形成 |
| | 生活リズムや生活習慣の形成 | 健康の増進 | 季節に応じた着替え、水分補給 |
| | | リハビリテーションの実施 | 感染症予防、咳エチケット |
| | | 基本的な生活スキルの獲得 | 連絡帳などを活用した健康状態の確認 |
| 運動・感覚 | 姿勢と運動・動作の向上 | 基本的な生活スキルの獲得 | 調理(長期休み中) |
| | | 構造化等により生活環境を整える | 汗の始末(夏季) |
| | 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 | 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 | 手洗い、うがい、マスクの着用 |
| | | 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 | 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 |
| 認知・行動 | 認知の発達と行動の習得 | 身体移動能力の向上 | 姿勢保持、ストレッチ・体操、散歩☆ |
| | | 保有する感覚の活用 | 避難場所まで歩く |
| | 空間・時間、数等の概念形成の習得 | 感覚の補助および代行手段の活用 | ウォーキング |
| | | 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応 | 教室内でのダンス活動 |
| 言語・コミュニケーション | 認知の発達と行動の習得 | 感覚の補助および代行手段の活用 | 落ち葉や木の実に触れる(秋期) |
| | | 知覚から行動への認知過程の発達 | 雪遊び(冬季) |
| | 空間・時間、数等の概念形成の習得 | 知覚や行動の手掛かりとなる概念の形成 | 知育玩具を用いた遊び、粘土遊び |
| | | 数量、大小、色等の習得 | はさみやのりを使用した工作☆ |
| 人間関係・社会性 | 他者との関わり(人間関係)の形成 | 認知の偏りへの対応 | こだわりや偏食等に対する支援 |
| | | 行動障害への予防及び対応 | ビンゴゲーム |
| | 自己理解と行動の調整 | 言語の形成と活用 | 紙粘土での造形物 |
| | | 受容言語と表出言語の支援 | 植物の世話・収穫☆ |
| 仲間づくりと集団への参加 | 言語の形成と活用 | 人と人の相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 | あいさつ☆ |
| | | 指差し、身振り、サイン等の活用 | イベントの振り返り |
| | コミュニケーション手段の選択と活用 | 読み書き能力の向上のための支援 | 発表会 |
| | | コミュニケーション機器の活用 | DVD・映画鑑賞☆ |

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。